

なでしこ分団が救命講習

大切な命を守るために



▲心肺蘇生法についてなでしこ分団から教わる庄司さん(中央)

産業文化センターで8月10日、市消防団なでしこ分団が津井地域の子育て世代が集まるバンビーノクラブの人たちを対象に、救命講習会を開きました。同分団は女性からの

視点による予防消防活動や防火・防災についての知識を地域に普及させることを目的として結成されました。所属している団員数は20人。普段は自治会などの依頼で救命講習会を開催していますが、今回は子育て世代の親に救命処置を伝えたいという想いで、同分団からバンビーノクラブへ救命講習の参加を依頼し実現しました。

この日参加者らは、救急車が到着するまでに行う救命処置についての大切さを学んだ後、心肺蘇生法やAEDの使用方法について実技講習を受けました。参加した庄司祥江さん(津井)は「AEDを見たことはあったが、実際に使ったことが無かったので、講習を受けることができてよかった」と話していました。山田小百合班長は「何度も講習に参加して、もしもの時に備え救命処置ができるよう練習していただければ」と話していました。なでしこ分団では、今後も救命講習会を開き、防火・防災についての知識の浸透を図りたいとしています。

淡路市の避難所で合宿

福島の高校生、島内を観光

東日本大震災で被災した福島県いわき市の県立平商業高校と県立四倉高校のソフトテニス部の部員21人が8月11日、島内観光を行いました。生徒らは8月5日から兵庫県が一時的避難所として整備した淡路高校旧一宮校で合宿。原発事故による放射線の影響を気にすることなく屋外で島内の高校生らと練習をしました。

夢舞台やイングランドの丘、淡路人形浄瑠璃館を巡りました。イングランドの丘では、ヒツジやコアラを見学してリフレッシュしました。四倉高校の渡辺帆南さん(福島県)は、「淡路の人たちはなんの偏見も持たず、親切に接してくれるのが一番嬉しかった。久しぶりに外で遊べて楽しかった。」と笑顔で話していました。



▲イングランドの丘でヒツジとふれあう四倉高校の生徒たち

人権尊重の文化にあふれる、差別のない明るいまちづくりを目指して「人権サマーフェスティバル」が、7月30日、三原公民館で開催されました。平成21年から続いているこのフェスティバルは、子どもたちにも楽しい催しや遊びを通じて、差別をなくし、明るくやさしい豊かな心を育ててもらおうと開催しています。



▲ピノキオの会によるおはなし会



▲点字体験コーナー

人権サマーフェスティバルが開催



▲人権イメージキャラクターの人権まるくんとあゆみちゃん

「人権まるくん」と「あゆみちゃん」など、人権に関する映画を大ホールで上映しました。このほか「点字体験コーナー」や「目の見えない方とのオセロ体験」、紙芝居や人形劇、「震災に対する寄せ書きコーナー」など、多様な催しが行われ、延べ1100人が参加して盛況のうちに終了しました。

地域での手づくりイベントが盛ん

市内各地で小学校区や自治会区を単位とする身近なコミュニティが、公民館などを拠点として手づくりのイベントを開催しています。

地域の実状に合った自主的な活動が、地域のきずなや助け合い、誇りや郷土愛につながります。地域での催しや活動にぜひ足を運んで参加してみてください。



▲今日的課題を学ぶ講座

戦没学徒を追悼

終戦記念日の8月15日、戦没学徒記念若人の広場(阿万大見山)で市主催の戦没学徒追悼献花式を行いました。中田勝久市長をはじめ、永田県議会議員や淡路県民局長、市議会議員ら31人が参列。ペン先をかたどった記念

塔の前で正午の時報とともに30秒間の黙とうの後、一人ひとり献花台に白菊をささげ、戦没学徒の霊を慰めました。



▲記念塔前で黙とうする参列者



▲白菊を捧げる中田市長

中田市長は「終戦から66年が経ちました。今日の礎を築かれた方々へ感謝の意を表したい」とあいさつし、戦死した尊い学徒の冥福を祈り恒久平和を祈念しました。同広場は1967年に建設され、2つの財団が運営して

いましました。しかし、施設の老朽化や阪神淡路大震災で建物が損壊するなどして施設が閉鎖。市が昨年6月に施設を引き受けました。市では、「公園として多くの人たちが訪れたい」としています。

みんな考え、みんなで活動するコミュニティづくり

まりパニックにならないように、「復興とエネルギー政策の今後の選択は、国民的課題であって、一人ひとりみんなで考えていかなければならない」と話しました。

◆また、福良地区では、南淡公民館の一部を改修して「瀬戸の潮みず交流広場」事業が始まり、7月31日、お披露目式が行われました。公民館を交流拠点として、元気と活気あふれる安全、安心のコミュニティづくりの活動が展開されます。

地域自慢のできる住民を増やす「福良学教室」や、自分たちでできる「津波防災研修」



▲瀬戸の潮みず交流広場お披露目式。大漁さかな節保存会によるアトラクション(南淡公民館)



▲お披露目式で、子どもたちも参加しての餅つき。参加者に振舞われました

イングランドの丘へのご招待について

地域の皆さまのおかげで、無事に開園10周年を迎えることができました。3月には西オーストラリア州より新たに4頭のコアラが寄贈されました。これを記念し、敬老月間に市にお住まいの70歳以上の方々をご招待し「自然とのふれあい、癒しのひととき」をお過ごしいただければと思います。

※裏面のご招待券で、ぜひご来園ください

◎イングランドの丘 ☎43-2626

